

リュウキュウヤマガメ等希少種保護動物の終生飼育と普及啓発

公益財団法人沖縄こどもの国

沖縄こどもの国は1970年に本土復帰記念事業の一環として開園しました。琉球列島の野生生物から動物・自然について伝える「教育」、琉球固有の動物の「研究」「種の保存」に取り組んでいます。

【活動背景】

沖縄県は世界的にも地域固有種が多い地域とされています。希少種の傷病個体や人為的移動などによる個体を沖縄こどもの国で保護しています。リュウキュウヤマガメもその一種です。しかし、本来の生息分布区域が解明されていないこと、また各々の場所で遺伝的なまとまりがある可能性があり、放野による遺伝子の攪乱を来すため、終生飼育が基本となっています。しかし展示場、バックヤードともに飼育頭数が増えてしまい飽和状態であるため、新たな飼育場所の確保が求められていました。

【活動目的】

収容される保護個体のために新たな収容施設を改修設置することにより、カメのQOLを向上させることが目的です。また、カメの展示によってむやみに野外個体を移動させないように、ガイドで普及啓発を行い、正しい対応方法の普及を目指します。



【団体からのメッセージ】

新しいワニ舎を建設する際、バックヤードに建設した仮小屋を、この度JAC様より助成金をいただき、カメ用に改修させていただきました。飽和状態だったカメたちも、新しい環境によりのびのび暮らしています。今後も引き続き、地域の動物園として、リュウキュウヤマガメをはじめとした沖縄の地域固有種の保全、研究、普及に努めていきたいと考えています。

【助成金の用途・活動結果】

助成金は、保護されているリュウキュウヤマガメの収容施設の改修工事に充てられました。改修工事終了後にはリュウキュウヤマガメ42頭、セマルハコガメ19頭を移動させることができました。（令和6年3月末の飼育頭数は、リュウキュウヤマガメ137頭、セマルハコガメ68頭）これにより、展示場、バックヤードの飽和状態を解消し、カメのQOLを向上することができました。また、密猟の影響や関連する法律など、リュウキュウヤマガメが置かれている状況についてガイドを行いました。



改修後の飼育施設